



青南だより

令和7年9月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

暑さが厳しい夏休みでしたが、幼児、保護者、地域の皆様は、健康に過ごされたことと思います。いよいよ2学期が始まりますが、秋はずいぶん先になりそうです。引き続き熱中症対策など幼児の安全に配慮して教育活動の充実を図ってまいります。

今学期も本園の教育にご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



2学期は自然の変化が豊かです。

2学期は9月から12月下旬までと長く、季節は夏から秋、初冬へと大きく変化します。子どもたちは「暑い」から「涼しい」「少し寒い」などと肌で感じたり、園庭の木々や花、虫などの変容から、季節の移り変わりに気付いたりしていくことと思います。園庭の自然は子どもたちにとって魅力的です。子どもたちが「自然はおもしろい」「不思議だな」「きれいだな」など様々に感じながら、探究心をもって、触ったり、集めたり、比べたり、試したりできるようにしていきます。自然体験を通して、子どもたちに、自然を愛する気持ちや命あるものを愛おしむ気持ちの芽生えを培っていきます。



2学期は大きな行事で成長します。

運動会や作品展、音楽会に発表会、本園の運動や芸術の秋を楽しみにしてください。子どもたちは体を動かすこと、作ったり描いたりすること、歌ったり楽器を鳴らしたりすること、役になって動くことが大好きです。運動、描画・製作的な表現、音楽や言葉での表現など、繰り返し楽しんで経験したことや様々な内面の育ちを行事や作品を通して見ていただきます。幼児一人ひとりの成長が著しく、友達関係や学級としてのきずなも深まっていきます。子どもたちの体験が充実するよう、教育内容や教材、指導等を工夫していきます。



令和7年度 港区立青南幼稚園経営計画 — 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 —

(2) 幼児の主体性を重視し、豊かな感性と創造性を育み、思考力の芽生えを培います。

(4) 教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

⑤ SDGsの目標15の陸上資源を重点に、発達段階や季節に合わせて、生き物との触れ合い、親子での栽培や収穫、園庭の自然物の活用などの自然体験に継続的に取り組み、自然を愛する気持ちを育み、命あるものを愛おしむ気持ちの芽生えを培います。

(港区立青南幼稚園 経営方針 今年度の主な取り組みより)

